

フードリサイクルを活用した事例3

フードリサイクル学習の取組

～教材園で栽培した野菜で調理を体験～

ふれあい授業で保護者と料理を作ることで、食べ物を大切にする心を育む

フードリサイクル堆肥を使い、教材園で野菜を育てるなど、各学年の発達段階に合わせてフードリサイクルを学んでいる。

栽培活動や調理は、生活科、総合的な学習の時間で取り組み、国語や道徳などを横断的に扱い、食指導と環境教育に関連付けてフードリサイクルについて学んでいる。

月	1年生	2年生	3年生	4年生
4月	アサガオの種を2年生より寄贈される。	教材園を耕作する際、事前にフードリサイクル堆肥について学び、畑に堆肥を入れる。	教材園を耕作する際、事前にフードリサイクル堆肥について学び、畑に堆肥を入れる。	教材園を耕作する際、事前にフードリサイクル堆肥について学び、畑に堆肥を入れる。
5月	・アサガオの種まき ・ジャガイモの種芋植え	・ミニトマト種まき ・ジャガイモの種芋植え	・タマネギの苗植え ・マリーゴールドなどの種植え	ジャガイモの種芋植え
6月	・雑草抜き ・自分の植えたジャガイモにお手紙書き	・雑草抜き ・自分の植えたジャガイモにお手紙書き	・雑草抜き ・タマネギの成長観察記録を書く	・雑草抜き ・ジャガイモの成長観察記録を書く
7月	・雑草抜き ・土寄せ	・雑草抜き ・土寄せ	・雑草抜き ・土寄せ	・雑草抜き ・土寄せ
8～9月	・収穫 ・アサガオの種取り ・家庭に収穫祭の招待状を出す。	・収穫 ・家庭に収穫祭の招待状を出す。	・収穫 ・家庭に収穫祭の招待状を出す。	・収穫 ・家庭に収穫祭の招待状を出す。
10月	生活科「イモもちパーティーをひらこう」の活動を通して、給食の残りから作った堆肥でジャガイモがたくさん収穫できたことに感謝し、収穫を喜ぶ。	生活科「いもピザパーティーをひらこう」の活動を通して、栽培している「ミニトマト」「ジャガイモ」がフードリサイクル肥料によって、よりよい育成につながることを学ぶ。	「オニオンスープパーティーを開こう」の活動を通して、社会科及び総合的な学習の時間において、「玉ねぎ」の育成に有機肥料が役立つことを学ぶ（地域の玉ねぎ農家の方の活用）。	「ジャガイモ収穫祭」で様々なジャガイモ料理作りに取り組むことを通して、社会科及び総合的な学習の時間において、「ジャガイモ」の育成に有機肥料が役立つことを学ぶ。